

第2回 振り返りシートまとめ

1 「図書館に必要な要素」や「整備方法」、また先行事例の紹介などの説明を聞いて、どう思われましたか。

【図書館の要素に関すること】

(コンセプト・計画)

- ・地域によって図書館にはさまざまな特性を持っており、さまざまな目的を持った人が過ごしやすいように配慮しているんだなと感じた。

(鬼崎・10代)

- ・図書館にとってのコンセプトや基本計画の考え方は、建物に大きな影響を与えるように感じた。(常滑・30代)
- ・今後、必要とされるようなものやサービスを想像しながら考えていかないといけないと思いました。(鬼崎・60代)
- ・ハード面は必要十分で。ワンフロワーが利用しやすい。(鬼崎・60代)

(資料を閲覧する場所)

- ・年代によって違いがでるかなと思ったが、どんな所で、どう読みたいのか共通していると思った。(青海・70代以上)
- ・ゆっくり本を読む。気軽に行ける。(南陵・60代)
- ・「こもれるスペース」やカフェなどがあると良いと感じました。(鬼崎・50代)

(貸出・返却のための場所)

- ・便利に本を借りることが出来る。(南陵・60代)
- ・貸し出し、返却などオーソドックスな機能の部分でも、自動化など様々な工夫をされていることが分かりました。(南陵・10代)
- ・最新設備、便利であることの意見が多く取り入れられていると思いました。(常滑・50代)

(図書館の役割)

- ・自分、利用者がゆっくり本を読むということに意識が行きがちでしたが図書館が「資料や情報を提供する場所」として機能することも大切なんだなと思いました。(鬼崎・40代)

(その他の意見・感想)

- ・自分は高れい者に分類されてしまう年齢になったので、自分にとって必要な要素と働きざかりの人や、子どもたち、若者とは異なると思います。(常滑・60代)
- ・構成要素について適格簡潔にまとめられており、参考図書館の例示でより分かり易いと感じました。(鬼崎・40代)

【整備方法に関すること】

(リノベーション方式・コンバージョン方式)

- ・整備の方法にも、新築以外にリノベーションなどさまざまな方法があり、財政状況なども含めて考える必要があるのだと改めて思った。(リノベーションは常滑市の場合は不可だが)(鬼崎・10代)
- ・既存施設のリノベーションがとても良いなと思いました。(常滑・20代)
- ・コンバージョンがよいと思いました、予算の話を知ったら今のままで内容の充実を図った方がよいのでは、と思いました。(鬼崎・40代)

(テナント方式)

- ・新築を中心に考えていましたが、スーパーマーケットやイオンモール内に整備することで、金額をおさえることが出来るのであれば、それも手だと考えます。駐車スペースの確保、イオンモールの場合駐車料金をどうするか等の課題が出てくると思います。(青海・20代)
- ・テナントもいいと思う。(鬼崎・60代)

(その他の意見・感想)

- ・新しく建築するという方法だけではなく、なるべくお金のかからない身の丈にあった整備方法を考えなければいけないのかなと感じました。(鬼崎・40代)
- ・新築以外の整備方法の提示も財政の観点から考えると当然だと思いました。新築に固執する必要はないという考えになりました。(鬼崎・40代)

【財政に関すること】

(テーマの絞り込み)

- ・市の財政状況を考えれば先行事例が必ずしも参考にならない場合もあるのではないかと思います。夢と現実の間でどう折り合いをつけるかが今後の話し合いの課題であると思う。(南陵・70代以上)
- ・必要な要素は非常に多いため、コスト面も考慮すると注力すべきテーマをある程度絞り込む必要があると感じた。(常滑・50代)
- ・昨今新設図書館が注目されていることもあり、それぞれ先行事例の図書館は素晴らしい事例なのだろうが、全体としてどこに焦点を絞ったのか興味があるし、財源は欠かせないと思った。(常滑・60代)

(課題の発見)

- ・多分、それなりの金がかかると思いました。豪華な施設を作ったとしても、結局まわりの市町村と競合してしまうと思いました。(常滑・10代)

(その他の意見・感想)

- ・財源の確保(青海・60代)
- ・やはり、立地、規制、財源次第なんだと改めて感じました。(常滑・50代)
- ・お金(予算)は大切だなと思いました。(鬼崎・50代)
- ・財源等の課題もあると思うので、範囲内で是非常滑市の改革になると良いなと思いました。(常滑・20代)

【常滑市の特色に関すること】

（常滑焼のアピール）

- ・ 地方独自の色があって面白いと思いました。常滑市も特色を活かして、常滑焼や「やきもの」をアピールしてもいいのではないかと思います（中に常滑焼のタイルを使う、散歩道の壁の招き猫のような壁がある等）。（鬼崎・40代）
- ・ 常滑市の良さ、歴史や陶器を使った内装だとおもしろいなと思います。（常滑・20代）

（常滑について学ぶ）

- ・ やきものの本を沢山集めていると図書館の方に聞いたので、それもいけるかなと思います。（鬼崎・40代）
- ・ いろんな図書館を見てみたい！と思った。旅行で行くのもいいなあ。そうすると、常滑の図書館も常滑について学ぶコーナーを充実させないといけないですね。（南陵・50代）

（常滑らしさ）

- ・ その地域の「らしさ」も取り入れられると更に市民・市外両方に楽しめれると思います。（常滑・50代）
- ・ 先行事例の図書館の説明を聞いているだけで「行ってみたい」と思えたので、常滑も他の人から見てもそう思ってもらえるようにしていきたいと思います。（鬼崎・40代）
- ・ 様々な取り組みを行っている図書館が紹介されていて常滑の図書館にどんな魅力をつめこめるか具体的に想像がふくらみました。（青海・40代）

【立地に関すること】

- ・ 立地の面と多目的に使うことができるという面では、市民の人が来やすいかつ場所の広い土地が必要になって来るのでその部分を工夫できると良いと思いました。（南陵・10代）
- ・ やはり、立地、規ホ、財源次第なんだと改めて感じました。（常滑・50代）

【学校との連携に関すること】

- ・ 学校教育との連携、特に小学校3・4年の郷土学習への資料・情報の提供・収集をし、充実してほしい。（青海・70代以上）
- ・ 将来常滑市を担う人材育成の一端を図書館は担うことを求められている。人材育成のできる環境づくりが必須であるし、求められている。（青海・70代以上）

【五島市図書館に関すること】

（図書館の要素のバランス）

- ・ 島で不便な点もあるかと思うのですが、理想的な図書館だと思った。（常滑・50代）

- ・五島市立図書館がコンパクトながらも、非常に多機能で人口から考えても、イメージが付きやすかった。(常滑・40代)
- ・限られた空間の中で多機能を盛り込んで、ゆったりとしたスペースも確保できるコンパクトな図書館が想像できて常滑市のイメージに近いのかなと、想像してわくわくしました。(常滑・40代)
- ・五島市の事例を通して、多くの要素があり、バランス良く整備していく状況が理解できました。その中で、改善すべき・改善した方がよい点を共有させてもらい、常滑の施策に活かせたらと思いました。(常滑・50代)

(ボランティア・交流)

- ・島民の方々のボランティアの参加も多く、図書館を中心に町の人たちの交流が上手に行われている様子が分かった。(常滑・50代)

(ICT)

- ・五島市立図書館はスマホで本が借りれるのすごいなと思いました。(鬼崎・10代)

(その他の意見・感想)

- ・五島市の図書館 夢がつまっていたワクワクしました。(常滑・40代)
- ・五島市立図書館のはなしを聞き常滑市の図書館とは少しちがうんだなって思いました。(鬼崎・10代)
- ・五島の図書館は土地柄をいかしてステキだと思いました。(南陵・40代)

【全国の先行事例に関すること】

(課題の発見)

- ・数多くの事例があったが、実際に上手くいっているかの検証も必要と思った。(常滑・50代)
- ・多種多様な図書館があり、目的によって広さや建物も大きく変わってくるように感じた。(常滑・30代)
- ・先行事例の図書館が、どのような検討で創られたのか、予算はいくらだったのかなどを聞きたいと思った。(鬼崎・50代)

(参考にしたい)

- ・自分たちの「こうしたい」という図書館像が先行事例として、実現されているのが興味深かく、実現方法の参考になった。(鬼崎・20代)
- ・他の県ではこんなにすてきな図書館があることにびっくりしました。良い部分をたくさん参考にできると良いなと思います。(常滑・30代)
- ・事前に資料をいただいて紹介されている図書館が気になり近くに寄った際に見学してきたのですが(豊橋のまちなか図書館、長崎市立図書館)イメージがよりふくらみ良い意見につながった気がします。(青海・40代)

(その他の意見・感想)

- ・静岡県牧之原市の事例より、ザ・図書館というより、民間企業のような

- デザインが好まれそうだと感じた。(常滑・30代)
- ・全国の図書館の様子を垣間見れて良かったです。(鬼崎・50代)
- ・各図書館で立地条件やコンセプトがまとめられていてよいものばかりでした。(鬼崎・40代)
- ・他県の図書館もステキな施設ばかりでした。(常滑・20代)

【その他の意見・感想】

- ・良い図書館を作りたいと考える人々は全国にいて安心しました。(南陵・60代)
- ・これからの未来続く図書館、よく検討してほしいしこのワークショップが何らかの形で役に立てばよいなと思った。(常滑・60代)
- ・希望する図書館を言語化してアウトプットし、それに必要な事を実現的に考える、という事をしてみて、良い経験が出来ました。(鬼崎・50代)
- ・建築設計家の意見も聞きたい。(常滑・70代以上)
- ・新しい図書館ができるかな？(南陵・70代以上)
- ・沢山の資料をありがとうございました。(青海・40代)

2 他の参加者の話を聞いて、印象に残ったこと、共感できたこと、自分とは違うなと思ったことなどがあれば教えてください。

【図書館の要素に関すること】

(手に取れる資料を置く(開架)場所)

- ・空間、本の充実が重要と思いました。共感してばかりで、なるほどです。(常滑・50代)
- ・分類、ジャンル分けが従来よりも「わかりやすく」(鬼崎・50代)

(資料を閲覧する場所)

- ・屋外で本を読める場所やスペースがほしいという意見に共感できた(鬼崎・10代)
- ・前回と共通して、気軽にゆっくり、くつろぎ本と出会い、過ごしたい思いは一致しました。(常滑・40代)
- ・図書館でゆっくりしたいという意見は共感できた。(常滑・30代)

【多目的な利用に関すること】

(イベント)

- ・若い世代の方が「専門の人の話」(講義?)が聞きたいと話されていたのが印象に残りました。(鬼崎・40代)
- ・ボードゲームコーナーとか、あったらいいなと思った。(Aチーム)(鬼崎・50代)
- ・有料のイベントなどで人が集まるのか疑問に思いました。(南陵・10代)

(コミュニティセンターなど)

- ・図書館のみでなく、コミュニティセンターのような、複合的な施設を求めている事がよくわかった。(常滑・30代)
- ・「多目的に使う」ということをあまり考えていなかったけど、そのような場所になれば利用者も増えるなど共感しました。支援センターと併設など。(常滑・30代)
- ・自分では図書館は個人で利用するものと思っていたが、仲間や集団で利用できる施設であってほしいとも思う。(鬼崎・60代)

(様々なシーン別での利用)

- ・「多目的」にスペースが確保できる具体案が出ていたので、取り入れられたらいいナァと思いました。(常滑・50代)
- ・さまざまな環境をつくり、さまざまな考え・目的を持った人に対応できるようにすることは重要だなと他の人の意見を聞いて思った。(鬼崎・10代)
- ・図書館だけで一日過ごすのではなく、散歩コース、散歩道の中に組み込まれるのもいいなという意見があり、町として素敵だなと思いました。(常滑・40代)

【出合いや交流の場に関すること】

(人とのつながり)

- ・先月のワークショップ後に感じた事と同様に、私が属していたAグループは、図書館という空間に気持ちの安らぎ、人とのゆるいつながりを求めているのかな、と感じました。(鬼崎・50代)
- ・人とつながる場所にしたい。(鬼崎・60代)
- ・図書館に集うことが人と人のつながりになればと考える人が多い。(南陵・60代)
- ・本で読むこと以外にも、ゆっくりできる。「人と人が出会う場」としての空間って大切だなと思います。(常滑・20代)
- ・Aグループの発表が良かったです。図書館を介して人と人がコミュニケーションがとれたらいいと思います。(南陵・40代)

(それぞれの居場所)

- ・人と話したい人と、話したくない人がいて、図書館ではどうなのかな。このことを反映できる図書館ができればと思います。(南陵・70代以上)
- ・話しかけてほしい、話しかけてほしくないエリア(青海・40代)
- ・共感できたこと→みんなおひとりさまスペースが好き。(南陵・50代)
- ・共感できなかったこと→居場所はどこでもあるという発言。ない人は意外といいます。と言えなかった。(南陵・50代)
- ・話したい人、したくない人等、それぞれのニーズで分けという案がよいなと思いました。(鬼崎・40代)
- ・話しかけて欲しい人、欲しくない人を分けるアイデアは良いと思う。(鬼

崎・50代)

- ・広いスペースでそれぞれにすごせる空間をのぞんでいる人が多いことには共感します。(鬼崎・40代)

【人材の確保に関すること】

- ・良い図書館をつくれば自ずと、人は集まる。要は、図書館で働き運営する人材の熱意・能力・センスによることが大きい。「気軽に行ける図書館」というより「魅力ある図書館」でありたい。(青海・70代以上)
- ・施設だけではなく、人材も必要。(鬼崎・60代)
- ・共通として、空間、本の充実、人材、財源が重要と思いました。共感してばかりで、なるほどです。(常滑・50代)
- ・システム（ハード）だけではなく、ソフト（人）面も重視するポイント(鬼崎・50代)

【公共交通に関すること】

- ・公共交通は必要（駐車場なども）(鬼崎・50代)
- ・どのグループも立地を考えていて、今あるもの（グリーン）の活用が必須(鬼崎・40代)
- ・今回の宿題だったやつでは意見がたくさん出てどれも納得できる意見でした。特に納得できた意見はグリーンの行く所を増やしてほしいって言う所です。私も図書館までグリーンで行くので増やしてほしいと思いました。(鬼崎・10代)

【飲食・カフェに関すること】

(テナント)

- ・スガキヤ、コメダなど飲食はプロにまかせる。(鬼崎・60代)
- ・コメダかスガキヤがテナントにがいる。(地元だから)(青海・40代)

(飲食の課題)

- ・本を汚さないようにという気づかい(青海・40代)
- ・カフェを作る場合（持ち込み可でも）本が汚れる可能性が高くなる為、具体的な対策が必要だと思いました。かりて持って帰っても食べながらということは可能なので（子供とか特に汚すリスクがある）→対策が必要(青海・20代)
- ・共感できなかったこと→コーヒーのしみや食べかすがはさまった本はちょっとイヤ。と言えなかった。(南陵・50代)

(その他の意見・感想)

- ・カフェなどがほしいという意見に共感できた(鬼崎・10代)
- ・飲食したい人が多いと感じる。(鬼崎・50代)

【ICTに関すること】

（電子図書）

- ・電子図書の資金についての不安があり、新冊を購入する予算が削られると、本末転倒になってしまう。（常滑・40代）
- ・電子図書の利用にはコストがかかるとの意見も複数出た。メインシステムを独自で構築するのか、他との連携で共有するのかなど、持続可能な取り組みが必要と感じた。（常滑・50代）
- ・電子書籍は魅力的だが、図書館に実際に行く人数が減ってしまうと本来転倒であると感じたため、電子書籍として配信する本もしぼったほうがよいと思った。（鬼崎・20代）
- ・電子図書の利用では、市民のみが使えるようにするなどの意見が印象に残りました。（南陵・10代）

（先端技術）

- ・図書館アプリ、Wi-Fi（鬼崎・60代）
- ・便利に本を借りる。先端技術を利用して図書館を利用する。（図書館アプリ）（南陵・60代）
- ・VRを使って探したり、AIを使ってサービスを提供するという意見を聞いたとき、最新の技術を考えていて自分とは違うと思いました。（常滑・10代）
- ・閉架VRおもしろい。（鬼崎・40代）

（従来の図書館像）

- ・ITを利用した将来の図書館が多くいらっしゃるのが意外でした。ただ参加したグループには従来の図書館像を持っている方が多く安心しましたが…（南陵・70代以上）
- ・デジタルを大切、重要と思いますが、人と人との接点、紙での本のかしかりもあっても良いかな（青海・60代）
- ・電子図書の推進は大好きな紙の本が減ってしまうのではないかと？（青海・40代）
- ・電子書籍の予算がどれくらいか想像できていなかったのですが、確かに、紙の本がその分減ってしまうのはよくないかな（常滑・50代）

（苦手な人への配慮）

- ・自分はスマホで何でも調べるが、スマホを使わずに便利に本を借りたいという意見があり、ギャップを感じた。（常滑・30代）
- ・スマホを使う人とスマホを使えない人の意見のちがい。各世代が使いやすい設備。（常滑・70代以上）

【財政に関すること】

（サービスの絞り込み）

- ・市の財政状況を考えて図書館を考えると、多目的化しすぎずポイントをしぼった図書館にしたいと思います。（常滑・60代）

(収益化)

- ・財源として市のグッズを売るというのは面白いと思いました。(鬼崎・40代)
- ・財源確保のためのグッズ販売。(鬼崎・60代)
- ・共通として、空間、本の充実、人材、財源が重要と思いました。共感してばかりで、なるほどです。(常滑・50代)

(企業とのコラボ)

- ・企業参入、カフェメーカー参入希望も意外と多いことがわかりました。(常滑・50代)
- ・市内の企業とのコラボなどのキッカケをもつのも良いと感じた。(鬼崎・50代)

(ボランティア)

- ・カフェをボランティアの人をお願いするというのもいいと思います。(鬼崎・40代)
- ・人(司書、コンシェルジュ)はいてほしいが、予算的にはボランティア活用が良いと思いました。(鬼崎・40代)

【WSに関する意見・感想】

- ・各年代によって求めていることが少し違うので、他の年代の方の意見を聞くことは自分の視野が広がりとても良かった。(常滑・50代)
- ・1つのテーマで話しあうと、刺激をうけて、いろんな発想がでてくる。(青海・70代以上)
- ・市民の声を聞く、話し合うのは、何かをやるにあたっても重要です。(青海・70代以上)
- ・今回は「個」ではなく「全」として考える回であるとテーマからは思いましたが、想いの強い方が多く「個」の意見を出される方ばかりだと感じました。「個と全」のバランスが難しいと感じます。ファシリテーターの采配もグループワークでは重要ですね。(鬼崎・40代)
- ・個人の考えを持ちつつ「皆が」という視点で客観化すると、ちょっと論理的な solution を出す道筋が難しかった。(常滑・60代)
- ・No. 1～13の分類づけがじっくりこなかった。第1回の意見、集約、分析(?)の労には頭が下がるが、ある程度見越して誘導されているような気も…(ひねくれてますが)(常滑・60代)
- ・安心、安全対策まで考えられていて、やはりきめ細かい対策も大事だと思った。(常滑・50代)

3 今日の話し合いを経て、現時点で図書館を整備するにあたり、 「あなたが重要視していること」はどんなことか教えてください。

【図書館の要素（資料を閲覧する場所）】

（ゆっくり本を読む場所）

- ・ ゆったり過ごせる場所になるようにしてほしい。雰囲気良さ（常滑・30代）
- ・ 静かでゆっくり過ごせる場所。（南陵・50代）
- ・ 市民それぞれ「ゆったり過ごしたい」方法、目的が違うので、多目的スペースを確保出来ること（イス、ソファ、個室、キッズスペース、外のベンチなど）（常滑・50代）

（それぞれの目的に合った場所）

- ・ 子どもと本を読むスペースも大切だと思うが、ゆっくり静かに本を読むスペースを階であったりエリアで分けられるといい。（鬼崎・20代）
- ・ 過ごしやすいという部分を重要視しています。静かな空間とにぎやかな空間で分けられているなどを大切だと思います。（南陵・10代）
- ・ 個人スペースと皆ですごすスペースとの共存。（常滑・50代）
- ・ 日常生活の中でリフレッシュできる空間を求めている事に気付きました。（鬼崎・50代）

（読み聞かせの場）

- ・ 読み聞かせの場・環境づくりの充実（2人で）、小グループで、大人数での読み聞かせの環境に合った場づくり（青海・70代以上）
- ・ 母のふところ、父のかたくるま、のような温かな心の落ち着きの与えられる東屋（あずまや）の中での読み聞かせ（青海・70代以上）
- ・ こもりスペース（鬼崎・50代）
- ・ 現物投影機で絵をスクリーンに映しながらの多人数を相手にした読み聞かせの場づくりをしたい。（青海・70代以上）

【図書館の要素（貸出・返却のための場所）】

- ・ 借りたり、返したりが簡単に早くできる（鬼崎・40代）

【図書館の要素（資料や情報を提供する場所）】

（本との出会い）

- ・ 本の人気ランキングであったり、各ジャンルの殿堂入りの本を紹介（鬼崎・20代）
- ・ 本と気軽に出会えること。（鬼崎・40代）
- ・ 蔵書のデータベース化（検索のしやすさ、分類、おすすめ、人気ランキング）（鬼崎・50代）

（情報の検索のための設備）

- ・ W i - f i の整備（スマホやPCが接続できる）（鬼崎・10代）

- ・ W i - f i (鬼崎・50代)

【図書館の役割(資料や情報の収集、整理、保存)】

(たくさんの本)

- ・多目的イベントホールではないので本はたくさん欲しい。(南陵・50代)
- ・自分の読みたい本があること(鬼崎・10代)
- ・2回のワークショップを経て、自分が重要視するのは、②本の多さ：沢山の本があると良い。(常滑・30代)

【図書館の要素・役割(その他)】

- ・利用度の高い図書館。→本来の図書館機能の強化(常滑・60代)

【出会いや交流の場に関すること】

(人とのつながり)

- ・非日常的な空間をどのように造りあげるのか、人が寄ってくる行ってみたい場所をどうつくるのかが大切と感じた。(青海・60代)
- ・図書館を介して人々のつながりが生まれる環境づくり(鬼崎・10代)
- ・地域交流や地元企画(常滑・30代)
- ・人と人がつながる図書館 図書館で出会い本でつながる。(常滑・40代)
- ・人とのつながり。(鬼崎・50代)

(コミュニティの形成)

- ・コミュニティがつくれる施設作り(常滑・30代)
- ・図書館を基点に様々なコミュニティが生まれると、新たなイノベーションも生まれ、観光等の活性化による財源確保にもつながるのではないかと。(常滑・50代)
- ・市民とのふれあいを重視してほしいです。(常滑・10代)

【多目的な利用に関すること】

(イベント)

- ・みんながたくさん図書館を利用する為に多目的利用が出来る場所を併設する(南陵・60代)
- ・多目的に使える(小ギャラリーや小ホール)室や設備がほしい。(常滑・70代以上)
- ・ただ本を読むだけの施設ではなく、講演などを聞いてほしいと思いました。(常滑・10代)
- ・利用度の高い図書館。→複合目的(カフェ、イベント)に対応(常滑・60代)

【人材の確保に関すること】

- ・図書館が安心できる憩いの場になるためには図書館に関わる「人」も重

- 要になってくると思います。色んな方（e x 困っている方、居場所なく探してる人（ひきこもり、不登校））に理解ある人（常滑・40代）
- ・もの、人、金、の三要素で図書館はできていますが、一番大切なものは「人」だと思います。優秀な司書がひとりいると、よい図書館ができると思います。（南陵・70代以上）

【立地場所・公共交通に関すること】

（立地条件）

- ・2回のワークショップを経て、自分が重要視するのは、①広さ：広い土地に大きい図書館で沢山の本、スペースがあると良い。③利便性：子どもが1人でも行ける立地の良さ。（常滑・30代）
- ・立地条件。皆が望む図書館にするために、どんな場所にあるのが良いのか、検討することが大切だと思う。（常滑・50代）
- ・行きやすい場所（鬼崎・40代）
- ・利便性、立地、景色を楽しみたいです。（常滑・50代）
- ・利用のしやすさ（人がたくさん来やすい場所）、立地、時間、I Tツール、交通手段（鬼崎・50代）

（公共交通）

- ・アクセスする為の交通整備（常滑・30代）
- ・気軽に行ける図書館のなかで：気軽にいけない人への配慮・計画が一番重要と思いました。（常滑・40代）
- ・公共交通…駅から近い、直通バスがある、グリーンが止まる等を重要視したいと思います。遠かったり、分かりにくい場所だと足が遠のいてしまうように考えます。気軽に遊ぶ場所の選択肢になったら良いと思います。（青海・20代）
- ・行きづらい人でも気軽に行ける工夫がほしい。（鬼崎・10代）

【カフェ・飲食に関すること】

- ・私が重要視していることは本を読みながらコーヒーなどを飲みたいということです。本を読みながらコーヒーを飲むとリラックスできるし図書館に来る人が増えると思ったからです。（鬼崎・10代）
- ・カフェスペース等も作り、広い場所でゆっくり読みたい。（南陵・60代）
- ・カフェ（鬼崎・50代）

【I C Tに関すること】

- ・先端技術、A I、アプリで便利、ワクワク利用できる図書館（鬼崎・20代）

【移動図書館に関すること】

- ・図書館「に」人々が行くだけでなく、図書館「が」行くということ、移

動図書館 e t c. (鬼崎・10 代)

【財政に関すること】

(サービスの絞り込み)

- ・図書館サービスをいくつかに収斂させる必要があると思う。あまり欲張るのではなく基本的なサービスに絞った良いと思う。(南陵・70 代以上)
- ・財政と要望実現のバランス (鬼崎・40 代)

(収益化の工夫)

- ・財源に対しては、どのように収益化出来るかがポイントになると感じた。(常滑・30 代)
- ・予算 図書館に人を集める、利用することが市の収益とつなげられたら。(南陵・60 代)

(財源の確保)

- ・財源に限りますね。(常滑・50 代)
- ・予算も重視してほしいと思います。(常滑・10 代)
- ・工夫・先行投資による長期視点でのコスパ (鬼崎・40 代)
- ・とりあえず早急に整備してほしい。予算がきびしいことは理解できるが、予算の何%かは図書館にまわしてほしい。ランニングコストとしては、予算の1%以下ですむと思う。(鬼崎・60 代)

(ボランティア)

- ・金のかからないしくみ。→蔵書寄付つもの、ボランティアスタッフ (常滑・60 代)

(その他の意見・感想)

- ・財政状況を聞いて常滑市の図書館はどうなるのか少し不安になった。(常滑・50 代)
- ・なるべくお金がかからない方がよいのかな...。(鬼崎・40 代)
- ・大きな企業とか常滑に移転してこないかな、とか願ってます。先立つものがほしい。(鬼崎・50 代)
- ・こんな事ができたらいいなあと思うことはたくさんありますが、やはり財源が気になります。(南陵・40 代)

【学校などとの連携に関すること】

- ・学校等との連携 (常滑・30 代)
- ・学校教育と連携し、内容に裏打ちできる資料の充実が必須 (青海・70 代以上)
- ・グループワークでは取り上げられなかったが、個人的には教育・探究の場とすることが重要と考えている。そのためには、保育園や学校との連携や各専門家とのタイアップも必要と感じる。(常滑・50 代)

【常滑市の特色に関すること】

- ・市の財政状況を聞いて、せっかく建てる図書館をうまく観光にいかせないかと思いました。図書館の方にやきもの関連はなるべく全て集めているとうかがったので、やきものの町として、やきものに興味のある市外の人にも資料が沢山あることをアピールしてみたらいいのではないかと思います。コンセプトを常滑焼や「やきもの」にして、散歩道など敷地に整備したりして常滑焼をおくなどしたら、外で読書も散歩もできて楽しそうだと思います。(鬼崎・40代)
- ・シンボル 常滑市の文化を最も体現している施設であり市民の生活にも密接に関わっており、市外の人ものぞきにくる魅力のあふれる施設(青海・40代)
- ・常滑の特色(招き猫、焼き物、のりとかの漁業)を出せるような、全国でも注目される図書館。(常滑・50代)

【図書館のあり方】

- ・したい事、それぞれの要求で多くあるのがあたり前、それをどう取り入れるのか？その前に、図書館とは、何故、必要か等を話しあいたい。(青海・70代以上)
- ・一部の人だけ(本好きな人)が利用する場所ではなく、子供や学生、何かを調べたい人、人とつながりたい人 e t c. いろんな人が利用する施設になるといいなと思います。(鬼崎・40代)
- ・図書館の機能として重要視することは、年代や、今おかれている立場、環境で違いが大きく、そこをすりあわせることは、大変むずかしいと感じました。10年後、20年後の常滑市の市の様子を予想して、どんな人が、図書館を利用するのかを想像して考えることが必要だと思います。(常滑・60代)
- ・財政状況を聞いて、みんながしたいことが沢山実現できることが、一番市民としては嬉しいけれど、現実問題難しいとは思いますが、範囲内で、現在の図書館より、幅広い世代の人が利用しやすい常滑市を盛り上げられるような施設となってほしいです。(常滑・20代)

【その他の意見・感想】

- ・第二回のテーマは「みんなが図書館でしたい事」で、それを実現するためにどんな要素が図書館として必要なのかでしたが、この場に多くの意見を反映できない参加率の低い20代の方や、この場に来られない多くの方々が背景にいらっしゃいます、そこへの配慮、計画が、必要と強く感じました。別テーマで、WSにいない(例：若者、マイノリティ)みんなが図書館でしたい事を追加で、市側でご検討いただけないでしょうか？(常滑・40代)

4 今後のワークショップで情報提供をしてほしい事項や、質問がありましたら、記入してください。

【常滑市の将来像について】

- ・常滑市がめざす未来像（市全般の）はどんなものなのかを知りたいと思います。（常滑・60代）

A. 市の「第6次常滑市総合計画」において、「目指すまちの姿」として「とことん住みたい世界とつながる魅力創造都市」を掲げており、成長とまちへの誇りにより、誰もが「ずっと住み続けたい」、「訪れてみたい」、「移り住みたい」と思える「とことん住みたい」まちを目指しています。

※詳細は市HPをご確認ください。

https://www.city.tokoname.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/301/soukei_digest.pdf



常滑市HP

- ・人口増加について 具体的に将来的な人口増加のプランがあれば教えてください。現実的ではないかもしれませんが、税収を増やすには人口を増やすが、シンプルに考えました。（常滑・40代）

A. 本市の人口は2025（令和7）年5月末現在で58,590人です。推計によると、本市の人口は2035（令和17）年をピークに減少に転じ、2060（令和42）年には54,711人になる見込みで、その後も減少傾向が続くものと考えられます。

そこで、将来の人口減少を緩和し、今後の人口確保に向けて、市では「第3期とこなめ地方創生総合戦略」を策定し、今後の人口確保（目標：2060（令和42）年に人口59,000人程度の確保）の達成に向けて、以下の3つの目標を掲げています。

- ①多様な産業により地域を盛り上げ、とこなめで働く人・住む人を増やす
- ②若い世代に便利で安全・安心な住みたいまちをつくる
- ③生涯年齢人口の減少に備え、みんなが活躍する社会を目指す。

※詳細は市HPをご確認ください。

https://www.city.tokoname.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/301/6zikouki2.pdf



常滑市HP

【常滑市の財政について】

- ・財源はどれほどの確保・持続性・計画性があるか。（説明を受けたので、だいたい理解できたが）（青海・70代以上）

A. 令和5年度決算において、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられ、使い道が決まっている依存財源は歳入全体の37.2%、使い道の定まっていない自主財源は歳入全体の62.8%、うち市税は43.3%の124.9億円です。市税については、固定資産税が市税全体の56.0%で70.0億円、個人市民税が市税全体の26.8%で33.5億円と、税収の大半を占めていますが、リーマンショックや新型コロナウイルスの流行など、社会情勢によって大きく左右されるのが税収です。このまま何もせず将来的に人口減少や固定資産の減価償却等が進んでいけば、自ずと税収は減っていきます。人口増や新規設備投資、新築を増やすためには、道路や下水道といったインフラ整備とともに、企業団地造成や補助制度などの企業誘致施策、住宅地の開発など、大規模な投資が必要となってきます。例えば、中部国際空港開港に向け、大規模な投資をしたからこそ人口増や税収増が図られた一方、大規模な投資による借金が増え、財政が危機的状況に陥った要因の一つとなった経緯があります。

また、常滑市は、他市にはないボートレース事業収入があり、令和5年度は4.0億円、令和6年度は42.0億円を事業収入として一般会計へ繰り入れています。一方で、前回の資料でお示しした通り、景気などに左右されやすいボートレース事業収入は、過去には繰入が1,000万円だった時もあり、安定的・経常的な財源収入でないため、過度な依存は危険です。

・財政健全化をどうしていくのか。(鬼崎・40代)

A. 本市では、昔から豊かなボートレース事業収入に支えられ、市政の様々な分野で高水準のサービスを提供していましたが、ボートレース事業の売上激減や中部国際空港に関連したまちづくり事業に伴う市債償還もあり、厳しい財政状況に陥ったことから、平成23年2月に「常滑市行財政再生プラン」を策定しました。本計画では、厳しい財政状況を招いた原因として、①競艇依存体質で、身の丈以上の行政サービスを実施、②ボートレース事業収入が激減、③行政のスリム化に着手せず、④借金等でしのぎつつ、空港関連の大規模投資を推進、⑤もともと「貯金」の習慣がない、⑥病院赤字の拡大、⑦空港税収への過度の期待、の7点を取り上げています。

平成23年度から27年度までの計画期間5年間で、①身の丈以上の行政サービスを見直し、③行政のスリム化に着手するなど、55項目に取り組んだ結果、効果額は約79億円となり、目標達成率は110.4%となりました。その後も継続して取り組みを続けた結果、平成22年度末時点で4.0億円であった財政調整基金（貯金）残高は、令和5年度末時点で19.4億円となり、⑤「貯金」については最低限確保できていることから、最悪な財政状況からは脱したと認識しています。

ただし、行財政再生プラン期間において先延ばしにしてきた各種投資事業の実施のほか、新市庁舎や新給食センターの建設などにより、一般会計の市債残高（借金）は逆に増加しており、財政健全化はまだまだ道半ばです。中長期的には小中学校 13 校の更新も控えていることから、今後はいかに財政調整基金（貯金）を維持しつつ、学校更新費用を蓄えながら借金を減らしていくかが重要だと考えています。

- ・ 市政が厳しい現状を市民につたえる責任や私たちの知る権利はありますが本来、税金をどうやって優先順位をつけて市の目的、私たち市民の目的につなげるのかは、限られた財源をどう工面していくかが重要と思います。図書館に対する期待や優先度が高ければ、他の予算を削っても回す必要があるでしょうし、将来的な常滑市のあり方としての必要な施設であれば最優先で取り組まなければいけない課題のため、財源は気にしすぎはよくありません。前回のWSで司会の方がフォローしてくれましたが、そのハンドリングは市からもお願いしたいです。（常滑・40代）

A. 行政が行うサービスは、戸籍や住民票の発行だけでなく、道路・上下水道の整備や公園管理、ゴミ収集、公共施設の運営、子育て支援、福祉、教育、防災、公共交通など多岐にわたります。ご意見のとおり、財源は限られていますので、どのように優先順位をつけて事業を実施していくかが大変重要です。

常滑市公共施設アクションプランでは、一般的な施設の耐用年数を「60年」と定めています。今回皆さんがどのような図書館を望むかによって、整備費だけでなく、60年間の運営・維持管理・修繕費にかかる費用が自ずと決まってきます。

是非、皆さんには「現在」の視点だけでなく、「数十年後の市民」の視点、「人口の減少やボートレース事業収入の減少があった場合」の視点など、多角的な視点に立って、真に必要な十分な図書館機能は何かを話し合っていただければと思います。

【財源の確保について】

- ・ 財源確保の為、キッチンカー等の意見がありますがどう考えられているのか。他に財源確保の方法があれば知りたい。ぼ金出来るとか？（青海・20代）

A. 公民館や図書館は、社会教育法や図書館法などの趣旨に沿った使用を前提とする施設のため、営利活動を行うために施設を貸すことは想定されていません。常滑市の公民館においても、公民館の設置目的や社会教育法上の制約から、市・教育委員会が主催するイベントの一環として一定の選定手続を経た場合等を除き、キッチンカーなどと呼んで営業させることは認めていません。

現行の施設では難しいですが、施設の種類や位置付け、区画分けなどによっては、使用料や出店料を徴収することも可能と考えます。

視察先としました小牧市中央図書館には1階にカフェが入っており、プロポーザルにより選定した事業者が提案した額の使用料を事業者から収入しています。

図書館による財源確保の例としては雑誌スポンサー制度があり、小牧市・江南市・安城市も導入しています。これは、雑誌カバーの表紙に企業等の広告を掲載することなどにより、広告料をいただいたり、雑誌購入代金を負担してもらったりする制度です。

募金に近い方法ですと、ふるさと納税の使用用途として図書館資料の充実（①東京都目黒区、②東京都町田市、③群馬県前橋市など）や新しい図書館の整備（④大分県別府市、⑤宮城県柴田町、⑥宮城県富谷市など）や図書館船の運行（⑦香川県）、小中学校図書館の環境整備（⑧広島県福山市）を掲げているものもあります。

また自治体等によっては、ふるさと納税型クラウドファンディングなどを実施している事例もあります。視察先の千葉県富津市立図書館は、図書館整備の際にクラウドファンディングを実施しています。そのほかにも事例がありますのでご紹介します。

【兵庫県神戸市「神戸市立図書館」】

プロジェクト名「本を開いて、子どもたちにいろいろな世界を知ってほしい！ 子どもたちにとって、神戸市立図書館が身近な居場所であり続けるために。」

<https://furusato-kobe.city.kobe.lg.jp/983/>



神戸市HP

【神奈川県相模市「相模市図書館」】

プロジェクト名「図書館の本をこどもに届けたい！ 電子書籍でいつでも読書」

https://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp/toshow/html/oshirase/oshirase_20241002_2873.html



相模原市HP

【埼玉県三郷市「三郷市図書館」】

プロジェクト名「日本一の読書のまち三郷 図書館のこどもの本を充実させたい！」

<https://www.lib.misato.saitama.jp/blog;jsessionid=EC281B340860E2D480531218BDB1DFD1?0&pid=655>



三郷市HP

【図書館に関すること】

（人員の配置）

- ・現状、常滑図書館の人員配置が知りたい。（鬼崎・40代）

A. 図書館スタッフは、館長を含め21人です。曜日やイベントの有無によって配置人数は異なりますが、通常時の配置は概ね次のとおりです。

青海本館：平日8～9人（早番6～7人・遅番2人）、土日祝6人

南陵分館：平日2人、土日祝2人

こども図書室：平日2人、土日祝3人

（移動図書館）

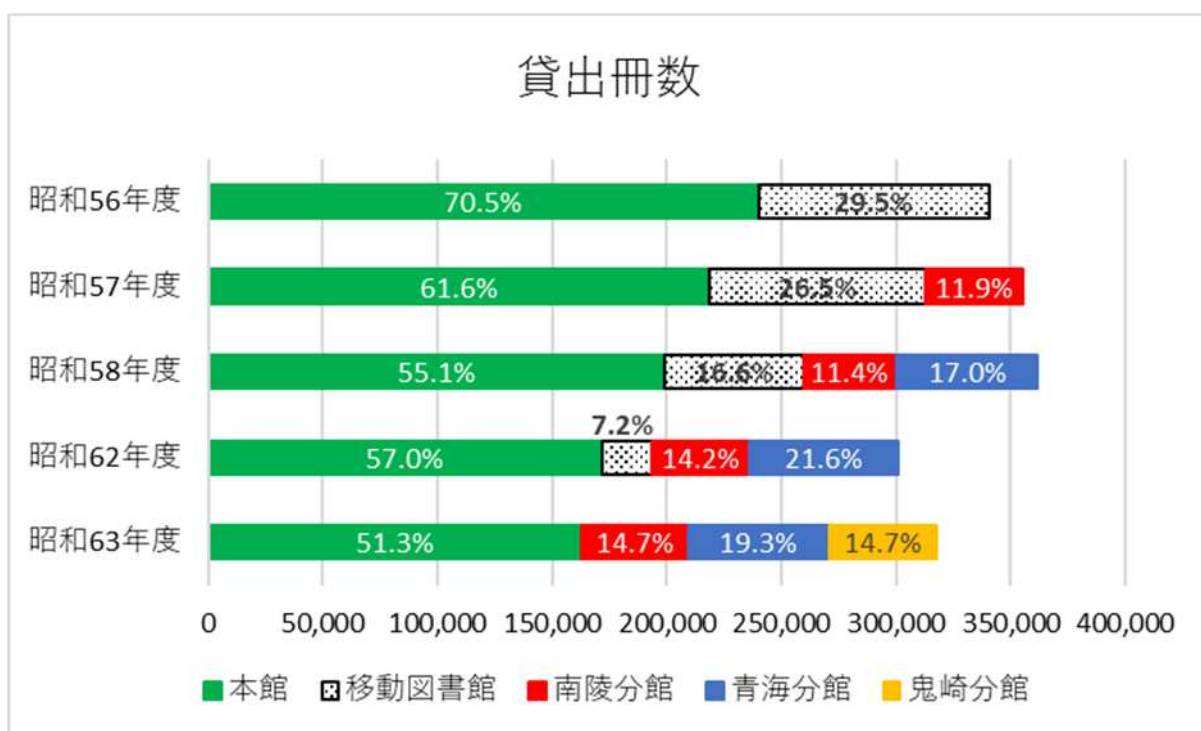
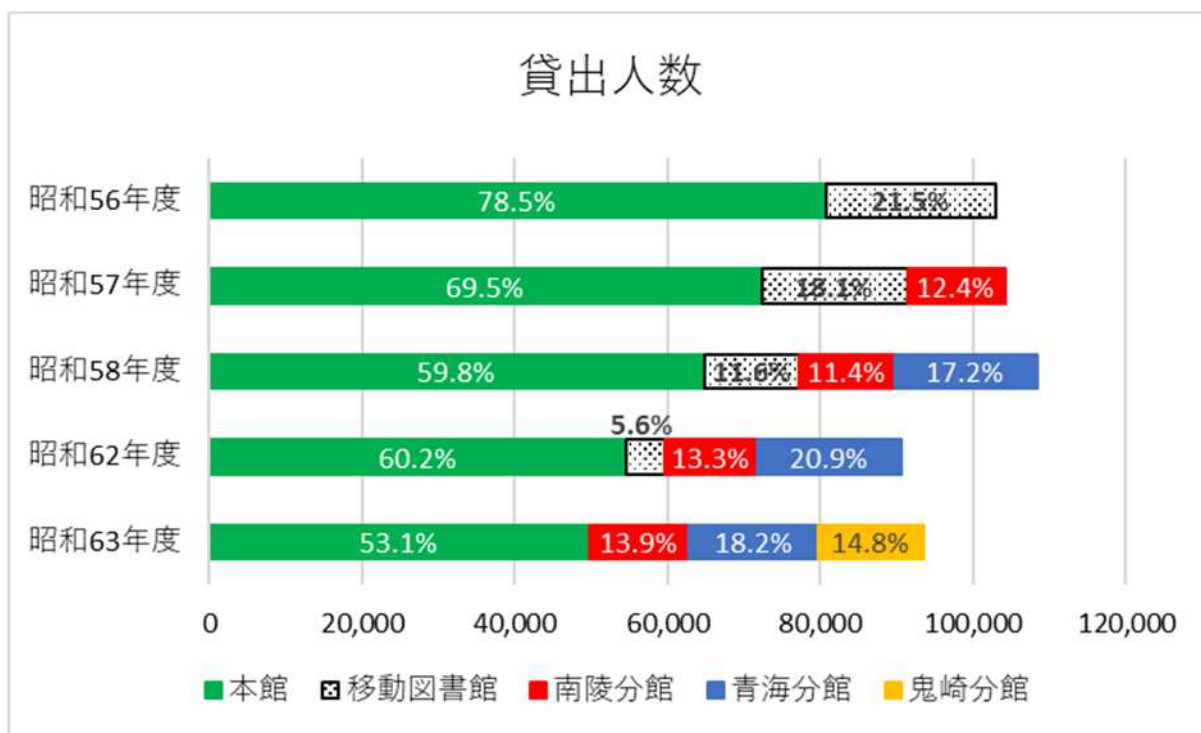
- ・昭和46年8月から63年3月まで稼働していた移動図書館「あおぞら号」について関心を持たれている方がいらっしゃることを知りましたので、当時の状況（貸出冊数や全体に占める割合稼働日数・駐車場所等）の資料提供をされたら如何でしょうか。個人的には県内で稼働している市町村が現在あるのかも知りたいです。（南陵・70代以上）

A. 当時、図書館を建設する際に、場所が市のほぼ中心部に計画されたことで、北部・南部地域の市民（特に幼児やその母親、年配者）にもサービスが行き届くよう、移動と図書館の必要性が議論され、準備を重ね昭和46年8月から試行的に運用されるようになりました。

移動図書館は26人乗りのマイクロバスを改造した車両で、積載冊数1,500冊で、月に7回（1日に2か所）14か所を巡回していました。愛称は、市内の保育園及び小中学校でアンケートを行い、応募者の多かった「あおぞら号」となりました。貸し出しは、1人1冊、1か月まで、巡回場所は、市内の保育園や地区公民館を中心に市内全域を網羅し、1回の滞在時間は約50分ほどでしたが、最初の1か月の利用実績が、貸出冊数2,667冊、利用者数895人と予想以上の利用となりました。利用者の要望に応えるように、段階的に、巡回場所を増やしていき、昭和50年度には、月に14日、29か所を巡回するまでに増え、昭和55年度には、貸出冊数10,118冊（内、児童書の貸し出しが約70から80%を占める）、利用者数22,398人（図書館全体の利用者数の約29%）となりました。

その後は、昭和57年4月に南陵公民館、昭和58年4月に青海公民館、昭和63年に鬼崎公民館が建設され、それぞれその一角に分館が開設され、移動図書館よりたくさんの蔵書を保有し、より良いサービスの提供が可能となり、利用者も減ったことから、昭和63年3月をもって廃止されました。

17年間の運行で、あおぞら号を利用された方は267,710人、貸出冊数は1,217,190冊、年間平均では、利用者数157,448人、貸出冊数71,600冊となりました。（出典：常滑市図書館30年のあゆみ〔平成13年3月 常滑市立図書館〕）



全国的には、昭和 45 年頃から各自治体で移動図書館の運行がトレンドとなり、愛知県内でも常滑市以外にも岡崎市、津島市、碧南市、小牧市などをはじめ多くの自治体が移動図書館を運行していました。しかし新たな図書館の建設公民館図書室の整備、財政難や利用者の減少により、平成 20 年頃までに順次、運行が廃止されています。一方で、名古屋市、一宮市、愛西市など現在も続けている自治体もありますし、市町村合併により市域が大きく拡大したことを受け、運行の検討を考えている自治体の事例も見られます。

（図書館のあり方）

- ・現在図書館（南陵、青海）を今後どうするのか？（南陵・60代）

A. ご質問いただきましたように、新しく整備する図書館をどうするかだけではなく、青海本館、南陵分館、こども図書室を含めた図書館のあり方についても検討する必要がありますので、第3回以降のワークショップで議論していただきたいと思います。

【スケジュールや立地に関すること】

- ・何年後の実現を想定しているのか。（鬼崎・20代）
- ・今現在で図書館について決まっている事がありますか？（予算、規模等）（鬼崎・60代）
- ・設計や工事の予定が聞きたい。（常滑・70代以上）
- ・予算やロケーションの自由度（建物を建てる時の規制など）（青海・40代）
- ・予定の場所などは決まっていますか？（鬼崎・50代）

A. スケジュールや整備費用については、整備方法により、大きく異なります。第3回ワークショップの中で先行事例の整備費用をお示ししたいと考えておりますので、参考にしてください。

また、市が所有する一定以上の面積がある土地についても、お示しさせていただきます予定です。

- ・既存の公園に併設出来る場所がありますか？（常滑・50代）

A. 既存の公園の面積・規模や機能を縮小すれば、敷地内に図書館を整備することは可能ですが、公園に隣接している比較的大きな面積の市有地はありません（なお、公園に隣接する私有地については、所有者の意向が分からないため、現時点では併設の可否は答えが難しいです）。

【企業や他市との連携に関すること】

- ・実際、企業やテナントなどとコラボの話は出たことはありますか？（常滑・50代）

A. 過去に市議会において、商業施設内へのテナント入居について話があったことはありますが、実現にはいたっておりません。

- ・半田市民病院が常滑寄りに新設されました。半田と常滑で共同図書館計画とかはありえませんか？（常滑・50代）

A. 昨年度に実施したアンケートなどからも、身近に図書館を望む声が多く、他市町との共同整備は現在のところ考えていません。

【基本構想策定委員会】

- ・基本構想策定委員会のメンバー・内容はどのようにすすめられているか。
(青海・70代以上)

A. 基本構想策定委員会は、副市長、教育長、図書館長、図書館協議会長や学校図書館関係者である指導主事などの市関係者のほか、有識者として大学教授や新聞社論説委員、また市民ワークショップから統括ファシリテーターおよび市民代表者が委員となっています。

第1回の策定委員会では、今後、基本構想策定の検討を進めるにあたって、委員の方に知っていただきたい図書館の経緯や人口や地勢、図書館の運用状況などの前提条件を整理しました。会議は原則公開で、次回は9月25日(木)を予定していますので、お越しいただければと思います。会議後には議事要旨も公開します。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.tokoname.aichi.jp/kurashi/gakko/1002943/1003021/1004334/1008492/index.html>



常滑市HP

【先行事例に関すること】

- ・観光客も利用することのできる、空港近くだからこそ、利用客が来る、収入にもなる図書館ができると、常滑のためにもなるかと思う、ので、国内外でそういう例があれば知りたい。(テレビで武雄図書館に外国からの観光客が来ているのを放送していたけど、実際はどんな感じなのかと思う。(鬼崎・50代)

A. 武雄市図書館などをはじめ、図書館が観光の目的になっている例としては、①石川県立図書館、②金沢海みらい図書館、③みんなの森 ぎふメディアコスモスなどがあり、これらは観光ガイドブックなどにも掲載されており、特に武雄市図書館は、武雄市によると宣伝効果を20億円と試算しており、視察全体の3割超が海外自治体によるものとのことです。

また近年では、図書館と観光情報機能を併せた複合施設を整備する事例も増えており、④沖縄県恩納村文化情報センター、⑤岐阜県中津川市ひと・まちテラス などもあります。

一方、図書館に観光客が来館することとは少し異なりますが、最近の観光のトレンドの一つでもある「まち歩き」のために図書館が力を貸している事例をいくつかご紹介します。

【長野県伊那市「伊那市立高遠町図書館」】

博物館にあった古地図をデジタル化し、GPSを使ってその古地図上で、自分は今どこにいるのかがわかるという「高遠ぶらり」というアプリを作成しており、ほぼ死蔵していた博物館の古地図も活用され、まち歩きのきっかけにもなっており、資料と人をつなぐための仕掛け

となります。

【岡山県瀬戸内市「瀬戸内市民図書館」】

「ウィキペディアタウン」という取り組みを行っており、図書館の資料を使って住民が勉強し、例えば瀬戸内市立美術館など市内のとある場所のウィキペディアのページに加筆するという取り組みをしています。

【東京都千代田区「千代田区立千代田図書館」】

区内観光にも対応するコンシェルジュサービスを提供しており、神保町を巡る図書館発のツアーは、区外在住者の参加が7割を占めます。区内の博物館・美術館や出版社等との地域連携による展示コーナーも常設しており、人的サービスと地域連携展示により来館者と街をつなぐ拠点となっています。

- ・紹介してくれた図書館の面積とかかった費用がわかると、この図書館をつくるにはこれくらいの広さと金がかかるのかと実感がもてて面白いと思った。(常滑・30代)

- ・紹介していただいた他市図書館の建設費用(鬼崎・50代)

A. 近年の建設業界における資材高騰や労務単価の上昇により、当時の建設費で同じ建物を建設することは難しくなっておりますので、第3回ワークショップの中で、建設費の推移と合わせて、最近整備された図書館の事業費を情報提供します。

- ・居場所になっている事例(常滑・40代)

A. 「サードプレイス」や「居場所」などをコンセプトの一つとしている市立図書館で、入館者数も増え、市民に浸透している事例として、①大阪府寝屋川市「寝屋川市立中央図書館」、②東京都武蔵野市「ひと・まち情報創造館 武蔵野プレイス」、③山形県長井市「遊びと学びの交流施設くるんと 長井市立図書館」、④長野県小諸市「市立小諸図書館」、⑤東京都瑞穂町「瑞穂町図書館」、その他、民間図書館ではありますが、⑥千葉県野田市「ソライエ清水公園えほんの図書館」、⑦静岡県三島市「あひる図書館」、⑧大阪府堺市「しらさぎ子ども図書館」などの機能や取り組みも参考になると思います。

また、実証プロジェクトの段階ですが「学習の合間に気軽に立ち寄り、心身をリフレッシュできる場」「同世代が集い、新たなつながりが生まれる交流の拠点」をコンセプトに東京都杉並区図書館にユースセンター(10代の居場所)を設け、地域に根ざした持続可能な子どもの居場所支援を行っています。

- ・にぎやかさと静けさ2面持った事例(常滑・40代)

A. 館内の音へ配慮している図書館をご紹介します。

【石川県珠洲市「珠洲市民図書館」】

利用者が気持ちよく利用するため、「音」のトラブルが起こらないように、声の出る児童層と静かに新聞を読む高齢者層、いろんな世代が利用する雑誌のあるソファ席などをある程度の距離をとって配置しています。「動」の児童開架と「静」の郷土資料や新聞コーナーを両端部に置き、中央部に雑誌とソファ席のブラウジングコーナー、ヤングアダルト（YA）コーナーを「緩衝帯」として配すなど、「音」のゾーニングに配慮して配架や家具レイアウトの計画を行っています。（なお、珠洲市民図書館は、基本構想策定委員会の委員でもある中井孝幸先生が設計段階から関わっています。）

【大阪府吹田市「吹田市立江坂図書館」】

館内の配置について、公園側には子連れの利用者が気がねなく過ごせるエリアを、反対側には静かに本を読んだり学習や研究をしたりするのに適したエリアを設けることで、公園側から奥側への「動」から「静」へ「音のグラデーション」をつけるような空間づくりによって、幅広い利用者に適した空間をつくることを考えています。

- ・他の市町村における事例において、必ずしも上手くいっていない部分や想定外だったこともあると思います。良い所を学ぶと同時に、埋没している悪い所も知りたいです。（常滑・50代）

A. 図書館整備にあたっての反省点や課題などについては、視察先へ事前質問させていただいておりますので、視察先の図書館担当者の生の声を参照ください。なお視察先の事前質問への回答は、第3回ワークショップの事前資料として送付します。

- ・他用途施設のコンバージョン事例とか、毎回、おもしろい図書館の紹介をしてほしい。（南陵・50代）

A. 近年では、廃止や遊休となった施設の他の用途への転用が増えていますので、引き続き他の自治体の情報に注視し、コンバージョンの事例を探していきますが、まずは県内の図書館をご紹介します。

【愛知県春日井市「グループふじとう図書館」】

廃校となった小学校の校舎の2階部分を利用して、児童書や一般書等の開架スペース、学習コーナーなど図書館を整備しているほか、「0歳から100歳まで集う、多世代交流拠点施設」として1階には、児童館・コミュニティカフェ・地域包括支援センター・ギャラリー、3階には、こどもとまちのサポートセンターや会議室を整備しています。詳しくは下記URLをご参照ください。

<施設の紹介>

<http://www.kozoji-nt.com/gruppo/about/>

<http://www.kozoji-nt.com/gruppo/facility/>



春日井市HP

<図書館の詳しい案内>

http://www.kozoji-nt.com/gruppo/topics-cat_03/399/



春日井市HP

・海外の面白い図書館も紹介してほしい。(南陵・60代)

A. 第1回の振り返りシートまとめにてご紹介した事例の他にも次のような図書館もあります。

【シンガポール「センカンコミュニティ図書館」】

図書館職員の情報マネージャーとしての役割を重視し、PC画面を共有することによって、別の図書館にいる職員がレファレンス対応できるようになっています。

【オーストラリア「ニューサウスウェールズ州立図書館」】

市民の基本的権利としての法情報へのアクセスの確保のため、法律関係団体と協力して、一般住民向けに法律関係の文献の提供（日常生活場面に応じて分類・蔵書）や参考業務（日常生活上の参考質問に対する法律情報の提供）を実施しています。

【台湾「知恵図書館」】

空港や商店街、地下街などに、分館とは異なる90平米ほどのサテライト図書館を多数整備しています。営業時間こそ施設に準じていますが、「無人」で運営されているのが特徴で、入口で交通系ICカードや図書館カードをセンサーにかざすと入館することができ、本はICタグによって管理されているため、出口付近に設置された専用の機械を使ってセルフで貸し出しの手続きをします。

【アメリカ「ニューヨーク市図書館」】

期間限定ではありますが、ニューヨーク市で車内の壁面、ドア、イスまでフィルムで本棚調にラッピングしたラッピング車両もありました。市内の3つの図書館との共同イベントで地下鉄内の無料Wi-Fiに接続するとすべての電子書籍が無料で読める仕組みで、広告を学ぶ学生のアイディアで始まったそうです。

【視察場所の選定に関すること】

- ・施設見学は、何故そこになったのかを知りたい。(青海・70代以上)
- ・視察先に選定された図書館の選択基準、特徴(常滑・60代)

A. 第2回ワークショップでは、①新築、②リノベーション、③コンバージョン、④テナント入居の4つの整備方法について情報提供しました。常滑市においては、旧図書館本館をすでに解体している都合から、②

リノベーションは、現実的に難しいため、それ以外の方法で整備された図書館の事例を実際に見て参考にさせていただきたく、県内を中心に視察を企画しました。

視察は、抽選のような形ではなく、希望されたすべてのメンバーの方に参加いただきたかったこともあり、最大で 50 名を受け入れていただけるよう視察先を探し、ご理解いただけた図書館を視察先としました。

小牧市中央図書館は、単独整備での①新築の事例であり、開館後、利用者が大幅に増加した事例の一つでもあります。面積は大きいですが、図書館に求められる機能や必要な要素をひとつとおりに見ていただく良い事例であるとともに、カフェが併設されています。また、江南市は複合施設ではありますが、同じく①新築の事例で、図書館の基本的な機能の他、図書館に関する情報システムを一通り見ていただけるとともに、駅前の再開発にあたり、にぎわい創出機能として図書館を整備した事例となります。

一方、③コンバージョンと④テナント事例は県内に事例がほとんどなく、かつ 50 人以上を受入れられる施設が限定的であったこともあり、遠く千葉県ではありますが富津市立図書館を視察先としました。富津市立図書館は、ショッピングセンターに入居していることから、商業施設を③コンバージョンした事例としても見ていただくことができます。

【ワークショップの資料・運営に関すること】

・グループの人数が多いと思う。(3～4人がベスト)(鬼崎・50代)

A. ファシリテーターの配置や会場の都合もあり、現在の人数とさせていただきました。

・事例として「県立」図書館が挙げられていたが、そもそも規模、対象異なるので参考になるのか??? (常滑・60代)

A. 県立図書館と市立図書館で、規模・対象や役割が異なるのはご指摘のとおりですが、参考になるところや共通する部分もあると考え、幅広くご紹介しています。

図書館でしたいことのうち、例えば「子や孫と本を読む」を形にしている先進的な事例として、県立図書館ではありますが、石川県立図書館ご紹介しました。新しく整備する図書館で「子や孫と本を読む」を実現するためにどうするかを検討する際のアイディアの一つとして、石川県立図書館のこどもエリアの事例を参考にいただければと思います。その他の県立図書館や私立図書館、大学図書館についても同様となります。

【その他のご質問】

- ・ 出入口付近に展示してあった「図書館の学校」という冊子がペラペラっと見たけど、大変興味深い。(南陵・50代)

A. 展示コーナーをご覧いただきありがとうございます。「図書館の学校」はバックナンバーも青海本館にありますので、ぜひ読んでみていただければと思います。

第2回ワークショップの際に出入口付近に展示してあった図書館に関する本は、「ぜひ皆さんに参考になる本、面白い本をご紹介します!」と、ファシリテーターの山際図書館長が選定したおすすめ本でした。今回のように図書館スタッフは良い本を提案してくれるプロでもありますので、何か情報をお探しのときは、図書館でレファレンスされてみてはいかがでしょうか。

- ・ 外装などで常滑焼を使用できるか知りたい。(南陵・10代)

A. ①新築、②リノベーション、③コンバージョンの事例では、構造上の制約はありますが、外装として常滑焼のタイル等を利用することは可能と考えます。外壁タイルは耐久性が高く、経年劣化が少ないため、時間が経過しても建物の美観を長期的に維持できますし、コンクリートの中性を抑制し、建物の耐久力を高める効果もあり、建物の長寿命化において優れています。また常滑市のアピールや地元企業の参画もできます。なお、テナント入居であっても、共用部との間仕切りにや内装へ常滑焼を利用することも可能だと考えます。

【その他の意見・感想】

(財政に関すること)

- ・ 第1回目で資料提供のあった各図書館での利用(図書館の比較 P10)状況を読み解くと、財源は多額にあるのに利用者や利用方法で大差がみられる。上手な財源の有効活用を、いかに具体的に考えているか。(青海・70代以上)
- ・ 現実的な、常滑市の財政状況が知れてよかったです。(鬼崎・50代)
- ・ 財政状況について知りたかったので、興味深かったです。(鬼崎・40代)
- ・ 図書館建設には、市長の決定権と市議会の承認 その他もろもろ必要になってくると思いますが、ぜひ既定路線の予算取り・財源の話ではなく、予算を図書館に割り当てられる可能性・期待感のある話も聞きたいです。(常滑・40代)
- ・ 今回のセミナーで財源について私たちからも意見がでましたが、これは近年テレビ報道でもなされている影響が強いと感じています。(常滑・40代)
- ・ 財政課に「図書館を作って良かった」と言ってほしい。(鬼崎・50代)

- ・市の財政がきびしい中で、大きな人数のワークショップをやっていく中で、市と市民のおもわく、ギャップが広がらないといいと思います。(南陵・70代以上)

(その他)

- ・今日の開始前に、館長さんから「単独」の意味を教えて頂き、しっくりきました。最近にしても妻は図書館の状況を知らなかったなので、広く市民にも共有してもらえればと思います。(常滑・50代)
- ・みなさん、とても上手に発表されるなーといつも思います。(南陵・50代)
- ・絶対的利用者の増加を望みます。(鬼崎・60代)
- ・ワークショップ後のアンケートの集計や全体意見のとりまとめ毎回の会議準備に際してワークショップの方とも話しましたが、非常にすばらしく、準備もされていて、毎回楽しませてもらっています。声が届く体制で市政を運営していただけることに感謝しております。(常滑・40代)

(参考) 傍聴者からの質問事項等

- ・常滑市に、交通の便が良い、または駅が近く、2,000㎡以上の土地はありますか？
 - ・建設可能な場所
- A. 市が所有する一定以上の面積がある土地を、第3回ワークショップの中で、お示しさせていただく予定です。
- ・他市町との協力を検討しているか。
- A. 昨年度に実施したアンケートなどからも、身近に図書館を望む声が多く、他市町との共同整備は現在のところ考えていません。